

松代高校

PTA会報

発行責任者
長野県松代高等学校
PTA
宮澤 洋介
長野市松代町西条 4065
TEL 026-278-2044
FAX 026-261-2120

挨拶

PTA会長 宮澤 洋介



この度、僣越ながら令和6年度松代高等学校PTA会長を務めさせていただきましたことになりました。宮澤洋介と申します。至らない点が多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、先生方と保護者の皆さま、また本会役員の方々の力をお借りしながら一年間頑張つていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

日頃より皆さまには本校のPTA活動に対し、ご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。先日PTA総会で新役員の承認と新年度事業計画や予算案が可決され、本年度の活動がスタートいたしました。さて、新型コロナウイルスが5類移行さ

れ約1年、長かったコロナ禍も収束を向かえました。行動制限は無くなり様々な行事やイベントが以前と同様に開催され、新たな生活様式で社会が動き出しています。その中で本校を取り巻く現状では、少子化による生徒数減少の対策として高校再編があり、それに向けた懇話会もすでに始まっています。

更級農業(農業科)、屋代南(家庭科)、そして松代(商業科)が対象で将来、3校の専門科を統合した技術新校の設立を目指していますが、この懇話会は県教育委員会が統合新校の開校に向けて、目指す学校像や教育課程のあり方についての意見交換を目的に設けた場で、対象校が所在する地域の意見を聞くため再編対象校の関係者に加えて、自治体や産業界(地元会社)の代表者が参加し、協議を重ねているところです。

このように社会全体や周囲の環境の変化が激しい時代だからこそ私達の役割が重要ではないかと感じています。

PTAの目的で前提にあるのは「子ども達の学校生活を充実させること」です。保護者、先生方との連携に加えて地域の方々とも繋がりを大事にすることで、子ども達がより良い高校生活を送れる一

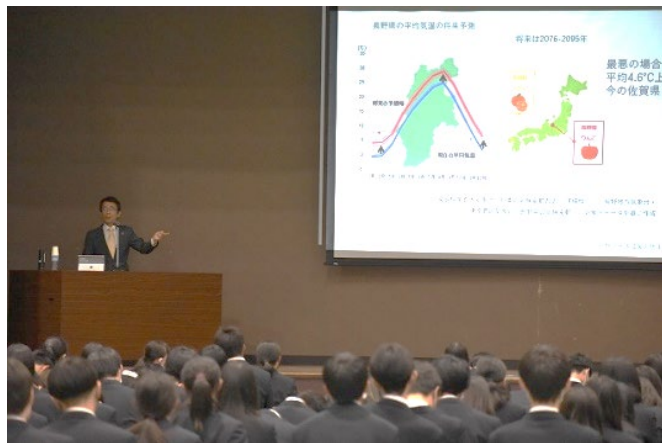
助となりますようご理解ご協力を重ねてお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

退任挨拶

前PTA会長 大平 芳春



会員の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。昨年度会長として会員の皆様、学校長を始めとする教



職員の皆様方に支えられ、無事大役を渡すことができました。心より感謝申し上げます。至らぬ点も多々ありましたが、新会長に引き継ぐことができ、安堵の気持ちでいっぱいです。

私自身にとりましては様々な方々と出会うことができ、多くのことを学ぶことができました。会員の皆様、PTA活動に積極的にご参加をお願いします。子供たちを知り、先生方と対話をし、より良い高校を作ってください。2年後には創立120周年記念事業が開催されます。子供たちの将来にとって新たな歴史を刻む事業となります。松代高校のためによりしくお願いします。最後にPTAの方々のより一層のご健勝と松代高校PTAの今後の発展を祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

挨拶

学校長 向井 健太郎



今年度より松代高等学校の校長を拝命いたしました向井健太郎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、PTA活動を通じて、様々にご支援をいただいておりますこと、重ねて感謝申し上げます。

今年度は、四月五日に入学式を挙行し、新入生を迎えました。全校生徒がそれぞれ、本校の校訓である「克己」のもと、学校生活に取り組んでいます。また、この間、高野連や高体連の大会が行われました。いくつかの試合を見ましたが、勝負では負けてしまっても、最後まであきらめず、フェアプレイで試合に臨んでいた本校の生徒に大変感動しました。

また、陸上部と剣道部では北信越大会に出場することができ、大変誇らしく思います。応援に来ていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。さて、昨年の五月八日に、新型コロナウイルス感染症が五類に移行され、以降、様々な活動が再開されてきました。これ

からは、単純にコロナ前の状態に戻せばよいという発想ではなく、これまで行われてきた教育活動の意義を捉えなおし、コロナ禍の経験を生かした活動に取り組んでまいります。これからの時代は、変化の激しい不確実性の時代などと言われています。このような時代の中、子どもたちは、生涯にわたって主体的に学び続けていく必要があります。

教育現場においても、学校における教育課程（カリキュラム）の基準である学習指導要領が改訂され、高校でも今年度から全学年で、この学習指導要領での教育活動が始まりました。子どもたちが、「何ができるようになるか」を念頭に教育活動を行うことが求められています。そして、これから生きる子どもたちには「あらゆる他者を価値のある存在として尊重し」「持続可能な社会の創り手となること」への期待が寄せられています。

「学校は、子どもたちの権利が尊重される場所、そして誰もが人権をもった存在であることをきちんと学べる場所であってほしい」これは、前の県教育長内堀先生の言葉です。

昨年度、「こども基本法」が施行され、あらためて、「児童の権利に関する条約」の四つの原則を理解することの重要性が求められています。文部科学省の「生徒指導提要」によりまず、四つの原則とは、第一に、児童生徒に対するいかなる差別もしないこと、第二に、児童生徒にとって最もよいことを第一に考えること、第三に、児童生徒の命や生存、発達が保障されること、第四に、児童生徒

は自由に自分の意見を表明する権利を持つていることです。

この原則を理解し、安心・安全な学校づくりに取り組んでまいります。

保護者の皆様におかれましては、今後学校との連携を密にしながら、子どもたちの成長を温かく見守っていただければと思います。

Education という単語を日本語では「教育」と訳しましたが、元々の語源であるラテン語の意味は「引き出す」ということだそうです。

子どもたちの良さを引き出すためにも、PTAが一丸となって取り組んでいかれると思います。今年度もよろしくお願いいたします。

高校生として出来ること

教頭 阿部 栄智



日頃よりPTA活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。今年度よりお世話になっております。

私は、松代高校での生活でとても楽しみにしていることがあります。10年以上前ですが、市内の高校に勤務している時、授業の一環で松代町を何度も訪れ、松代の魅力調査を生徒と一緒に実施し

たことがあります。当時はまだ、長野電鉄の屋代須坂間の電車が運行していたのですが、何度か電車にも乗りながら、松代町の魅力を探っていました。町のいたるところに、お寺や武家屋敷などが点在し、歴史ロマンを掻き立てる町として当時の高校生には魅力が眠った町として映っていたのかもしれない。

時を経て、松代高校に赴任し、久しぶりに街中を散策してみました。10年前に散策した時は観光で訪れる人が多かったように見えたが、コロナ禍を経て観光で訪れる人は、インバウンド関係で外国からの観光客は増えたものの、日本人の観光客の姿は本当にまばらでした。ただ、道路が整備され、飲食店や観光スポットが増えて、魅力の発信は10年前より充実しているようにも感じました。

この10数年間での環境や経済の変化で、様々なことが変わり、そして自分がこの街に身を置くことになったわけです。そして幸いなことに、自分は教員で学びを進める立場にある。目の前にある地域資源と教える現場が重なった、この最高の環境でワクワクしない人はいないと思います。

さて、視点を高校生に戻すと、松高生にはこの街や松代高校がどのように映っているのか興味があります。自分がワクワクしたように、松高生がワクワクする高校生活の環境を考え、地域の皆さんに支えていただきながら、高校生が出来ることを、考え実践して行ってほしいです。

令和6年度 長野県松代高等学校PTA役員名簿

本会役員

役職	氏名		役職	氏名	
参与	清水 行和	前顧問	学校職員	山岸 勝	事務長・会計担当
顧問	大平 芳春	前会長	〃	宮坂 淳子	校内事務局
〃	向井健太郎	校長	〃	宮島 秀紀	校内事務局・3 学年主任
会長	宮澤 洋介	3－4 暖人	〃	中澤 涼子	2 学年主任
副会長	北島 美和	3－3 凱斗	〃	飯塚 邦洋	1 学年主任
〃	池田 悌智	2 - 2 光恕	〃	大庭 達也	生活指導委員会・生徒指導係主任
〃	阿部 栄智	教頭	〃	横地 京子	施設・厚生委員会・養護教諭
監事	長澤 愛美	2 - 1 瑠輝斗			
監事	町田ひとみ	2 - 3 明穂			

学級会長・副会長

(◎は学年会長 ○は副学年会長)

クラス	学級会長	生徒名	学級副会長	生徒名
1 年 1 組	大日方知帆	心 鈴	塩入 美穂	柚 奈
2 組	○小林 公子	空	小林 厚雄	春 斗
3 組	◎池田 幸美	大慈郎	山浦 綾	心 優
2 年 1 組	荒川 武嗣	凌 摩	岡澤 優	愛 実
2 組	○牧村 咲枝	夢 奈	北川さゆり	美 姫
3 組	◎駒村 訓彦	蒼 空	沼田美貴子	壮 生
3 年 1 組	飯森 紋子	槇	斉藤 陽子	結衣奈
2 組	○山田 雅代	杏 那	矢島ゆかり	汐 恩
3 組	◎西澤 正美	懂	駒村 沙織	瑠 唯
4 組	鈴木恵美子	彩 乃	松尾加代子	温 人

委員会

(◎委員長・○副委員長)

委員会	1 学年	2 学年	3 学年
企画・文化 (宮坂・宮島)	池田 幸美 (3 組) 山浦 綾 (3 組)	駒村 訓彦 (3 組) 沼田美貴子 (3 組)	◎鈴木恵美子 (4 組) ○松尾加代子 (4 組)
施設・厚生 (木内・横地)	小林 公子 (2 組) 小林 厚雄 (2 組)	牧村 咲枝 (2 組) 北川さゆり (2 組)	◎西澤 正美 (3 組) ○駒村 沙織 (3 組) ◎山田 雅代 (2 組) ○矢島ゆかり (2 組)
生活指導 (大庭)	大日方知帆 (1 組) 塩入 美穂 (1 組)	荒川 武嗣 (1 組) 岡澤 優 (1 組)	◎飯森 紋子 (1 組) ○斉藤 陽子 (1 組)



人の不幸の上に

自分の幸せを作らない

一学年 飯塚 邦洋

商業科1クラス普通科2クラス計90名の生徒とともに1学年はスタートをし、4カ月が過ぎようとしています。コロナの五類移行をうけ、日常生活をはじめ学校生活もコロナ以前に戻りました。中学校生活の大半をコロナ禍の下で過ごした生徒にとっては戸惑いの多い高校生活の始まりかもしれません。上級生からの歓迎会・壮行会、生徒会執行部からの校歌練習など高校独自の行事も体験してきました。部活動に積極的に参加する生徒がいる一方で、新入生の入部がなかった部もありました。

さて、授業科目として設定されている「総合的な探究」の時間ですが、今年度は「アウトプット」に重点を置いての展開を予定しています。例

学年だより

年行っている「松代ぶら散歩」でも、スマホを使って松代町内の三か所の見どころなどを撮影し、Canva というアプリを使って動画を作成し、プレゼンテーションを行うことを目標に設定し、活動をしています。つい先日おこなわれた総合的な探究の時間でも小山修也氏を講師に迎えての講演会の後、講演のまとめを発表するためのプレゼンテ

ーション資料作成に取り組みました。

友だち同士で教えあいながら取り組む姿が見られる一方で、集合時間がなかなか守られない生徒やタブレットで関係のないことをしている生徒の姿が見られました。講演会の前に「渋ハロ」の話が再び持ち出されたことから、学校生活などの慣れから少しずつ生活の乱れが見え始めるようになりました。このような傾向は学年が上がるにつれて悪化する本校の日常生活、最大の弱点であると指摘されます。保護者の皆様のご協力を得ながら規則正しい生活習慣、確固たる学習習慣が身につくよう取り組んでいきたいと考えております。

冒頭のタイトルは学年通信第1号に載せたものです。毎週金曜日に発行している学年通信はオクレンジャーでも配信していますので、ご覧ください。本校の校訓でもある「克己」を体現できるよう自らに問いかけてほしいものです。



できる・できないじゃない、やるの！

二学年 中澤 涼子

日頃より本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。

今年度より学年主任になりました、中澤と申します。担当教科は商業です。どうぞよろしく願います。

今回は、4月に行った学年集会で話した内容を掲載します。

皆さんは今年から「先輩」として、行動していくことになります。皆さんが「先輩」をみて真似したように、「後輩」は皆さんを見ます。どんな「先輩」でありたいですか。そして、この1年間をどう過ごすか、どんな自分になりたいか、みなさんそれぞれ考えてみてください。

考える参考になればと、4月に入ってから担任団で学年方針を決めました。こんな人になって欲しいと。それは「できる・できないじゃない。やるの！」です。

私たちは確かにに出来ないこともたくさんあります。でも出来ないからと決めつけて「やらない」とはならないで欲しい。結果として出来ないかもしれないけれど、やってみる努力をして欲しいと切に願います。

そこでやること、6か条。

①挨拶をする。あいさつはコミュニケーションの基本です。普段から声を出して挨拶していれば、どこに行っても当たり前に挨拶できるようになります。これは本当です。

②時間を守る。今年は修学旅行もあります。特に集合時間、守りましょう。

③整理・整頓・掃除をする。面倒くさいの一言で済ませていませんか。学校はみんなが使っている場所です。あなたが使っている教室やトイレも、誰かがきれいにしてくれています。

④授業を大事にする。1日の中で、最も長い時間を占めているのが授業です。得た知識を使って考えることができる、もつと世界も広がります。

⑤自分を理解し、大切にします。私はこれが一番大切だと考えています。自分をごまかさないこと。嘘をつかないこと。

⑥相手を理解し、尊重する。自分を大切にできる人は相手も大切にできると信じています。

保護者の皆さんも、1年後のお子様の姿を、想像してみてください。

最高学年として『覚悟』を持って

二学年 宮島 秀紀

保護者の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。お陰様で最上級学年として本年を迎えられたことに感謝するとともに、三月の卒業まで担任団一致団結し精一杯力を尽くして参りたいと思います。

さて、春先の天候不順により今年の桜の開花が心配されましたが、始業式を迎える頃には桜も開花し、桜の花をバックに各クラス写真撮影をすることができました。満開の花を見ながら、それぞれが三年生としての自覚と決意を新たに心に抱いたのではないのでしょうか。

最後の学年がスタートする中で、今までの集大成としての成果が表れてきました。三年間猛威を振るっていた新型コロナウイルスも、昨年五月に二類から五類に緩和され、部活動においては、ほぼフルスペックでの大会が開催されるようになりました。運動部では、先の北信総合体育大会において、日頃の練習の成果を十分に発揮できたのではないのでしょうか。一部のクラブでは、県大会出場、さらには北信越大会に出場するなど大きな成果を見せてくれています。加えて、ミュージック部が各コンテストで好成績を収めたり、美術部が積極的に展覧会に作品を出展するなど、文化部も運動部に負けず劣らず活躍をしています。そうした活動の中から、生徒たちは日々の当たり前の積み重ねの大切さを感じていることと思います。

また生徒会活動においては、執行部の生徒たちが、「三年生を送る会」に始まり、「新入生歓迎会」、「生徒総会」、各種の委員会活動に積極的に取り組むことで、生徒会活動も大いに盛り上がっています。松濤祭も原稿執筆中の六月六日現在、各係も精力的に活動しており、今から大変しみな状況です。

卒業後の進路に向けて決断を始める生徒も増えてきています。今までの二年間で多くの人が、「自分が興味を持っていることは何だろうか。自分の強みは何か。自分はどんなことで社会に貢献できるだろうか。どんなことにやりがいを感じるだろうか・・・。」と改めて、自分自身と向き合う機会を得ました。中には

「自分は将来〇〇になることを考えているが、果たして本当にそれでいいのかわからない。」と悩む生徒もいます。そのような悩みはそれだけ自己を見つめている証拠でもあります。真剣に自分に問いかけ続けた結果、決断をし始めているということなのです。「決断」をすることは誰しも不安を抱くものですが、人生には「正解」などありません。自分自身で「決断」することで、より一層頑張り、力が発揮できることを期待しています。

年度当初の学年集会で、卒業式までの登校日数を示しながら、進路実現に向けて覚悟を持った一年にしてほしいと伝えました。それまでの「甘い」自分、「弱い」自分を捨て、学年通信のタイトルにある「自ら立ち」、「自分を律し」、「自らを率いる」ことができる一年にしてほしいと願っています。

生徒たちが進路実現と栄えある卒業に向かって日々着実に努力していけましよう、今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

生徒指導より

生徒指導主事 大庭 達也

保護者の皆さまには日頃より本校生徒指導にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。1学期は、個々の環境が変わり、学校行事も多い学期になります。慌ただしく過ぎる日々の中でも様々な学びがあると共に悩みや困難にもぶつかります。今年度も例外ではなく、慌ただしい1学期であったと思います。

そんな高校生活を保護者の皆さまと一緒ににより良い学校生活になるように生徒達を支えていきたいと思っております。ぜひ今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。

さて、そんな高校生活で問題となりやすい「SNSを介してのトラブル」と「夏休みを迎えるにあたっての注意事項」を述べたいと思います。

1 SNSを介してのトラブル

先日のSNS講演会の折に簡単なアンケートを実施しました。そこでの「SNSでトラブルになったことがありますか?」の問いに対して「ある」「危なかった」と答えた生徒を合算すると全体の約1割でした。少ないと捉える方もいるかと思いますが、そもそもトラブルや問題になっていることすら自覚していないケースもあると思います。本校に限ったことではありませんが、SNSを介したトラブルの相談が絶えません。以下に問題となりうる事柄をあげます。(闇バイト・詐欺・高額請求・肖像権の侵害・個人情報漏洩・迷惑動画投稿・デジタルタトゥー・性被害・人間関係の悪化など)これだけの危険が隣にありながらSNSは誰でも簡単に使うことができ、誰とでもつながることが出来ます。それが良い点でもあり危険な点でもあります。特に3年生は今後18歳を迎える生徒が多くなり、親の同意なく簡単に契約を結ぶことができます。化粧品や脱毛などで詐欺被害に遭い、高額な請求をされた事例や個人情報等を不正に利用された事例もあります。保護者の方からも一度スマ

ホ使用時のルールについてご家庭でお子さんと話をしていただくようお願いいたします。

また、SNSで課題となるのが人間関係です。友人と連絡を取り、どんな時もつながりを持ちたい。自分のプライバシーを投稿して、共有したい共感してほしい。という考えは多くの高校生が持っているものだと思います。ですが、文章だけのやり取りは思っているよりも難しく、細かいニュアンスまでは伝わりません。その中で誤解がうまれたり、自分が望んでいる反応ではなかったりします。当事者同士だけではなく、「あの子がこんなことを言っていた」、「こんな投稿をしていたよ」などの情報を第三者から知り、関係が悪くなったという相談も多くあります。そうなるのと面と向かって話をするのを避け、SNSだけのやり取りになり、余計にそれぞれが思っていることが伝わらなくなります。是非、SNSだけに頼るのではなく相手の顔を見て話をする時間を大切にしたいと思っています。周りからの情報がすべて正しいとは限りません。一番はお互いが感じていることや思っていることを直接聞いてみる、話をしてみることを思います。ご家庭でもお子さんと話をする時間を持つていただけると幸いです。

2 夏休みの注意事項

本年度は七月二七日より夏期休業が始まります。夏期休業は時間に余裕ができ、生活が不規則になりがちで、気持ちが緩みやすい時期でもあります。松代高校校生として自覚を持った行動を心掛け、

問題を起こして深刻な事態にならないよう、十分気をつけて欲しいと思います。具体的には次の事に気を付けるようにしてください。

①交通事故(自転車事故、交通マナーの欠如による事故が多発しています)。
②無断アルバイト(通年アルバイトは原則禁止ですが、長期休業中は届出制です)。

③二十三時以降外出しない(県条例で決められています。ご家庭でも指導をお願いします)。

④スマホ・ネットの利用(個人情報の書き込み・誹謗中傷・写真や動画をアップしない)。

⑤茶髪・ピアス・エクステ・カラーコンタクトレンズをしない(校則により禁止です)。

⑥飲酒・喫煙、その他問題行動をしない(飲酒・喫煙は同席でも指導の対象となります)。

⑦バイク免許取得・バイクの乗りまわしをしない(無免許運転・二人乗り等も同様)。

⑧交友関係トラブル(犯罪に巻き込まれない様に注意してください)。

なお、問題行動が発覚した場合、事実を確認する為に夏期休業中であっても登校し、指導を受けてもらうこともあります。

ご家庭で、何か気になること等がございましたら、お手数ですが学校までご相談ください。皆様のお力になれるよう力を尽くしてまいります。

進路指導係より

進路指導主事 小野 陽子

保護者の皆さまには、日頃より本校の進路指導にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年度卒業生の進路状況は、大学15名(13・4%)、短大9名(8・0%)、専門学校54名(48・2%)、就職28名(25%)、公務員3名(2・7%)、その他3名(2・7%)でした。一昨年度より大学進学が増えましたが、「手

職をつける」や「やりたいことをやる」ために専門学校へ進学する者も増えました。目的を持って進学することはい

ことですが、入学後向いていないということでも退学してしまうということもあり

ります。職業や自分の適性などもしっかりと考え、進学先を決めることも大切です。

入試方法としては、学校推薦型選抜の指定校推薦や公募推薦、総合型選抜、AO入試での合格が多数を占め、年内にほぼ

進路先が決定します。これらの選抜では、活動報告書や志望理由書の提出の他に、面接や小論文、プレゼンテーション、口

頭試問などが課されることがありますので早めの準備が必要です。3年間の高校生活で、何を考え、どう成長できたかが語れると提出書類や面接での説得力が増します。日々を大事に過ごしてほしいです。

就職に関しては、ハローワーク篠ノ井管内の求人数は年々増加している一方で、求職者数は200人を下回っています。

す。そのため、昨年度末での管内の求人倍率は4・35倍となりました。産業別では、製造業の求人数が最も多く454、次いで建設業が169でした。建設業の求人数の増加が目立ちます。また、職業別では、生産工程・建設・労務が563、専門・技術・管理が98、サービス・介護が93でした。一方、事務の求人数は29と少ない傾向にあります。産業・職業別にばらつきはありますが、求人倍率はコロナ禍前よりも上昇しています。また、給料面や休日数などの待遇面も見直しがされている企業が多くなっています。

どういった仕事を希望するか、どういった働き方をするかよく検討して選んでほしいと思います。人手不足もあり就職しやすい状況ではありますが、採用選考に関しては誰でも内定が出るわけではなく、企業側の求める基準を満たしていないと不採用になります。筆記試験や適性検査、複数回の面接などにより総合的に判断されますので、しっかりと準備することが大事です。毎年3年の夏以降に

進学から就職に変更する生徒が何人かいます。その場合、応募企業の選択や試験対策がどうしても十分に対応できず、内定をいただくまで苦労することがあります。進学か就職かの選択は将来を左右する大きなことです。どうぞ、早い時期から進路について考えてください。

進路指導としても、1年次より「自分を知る(長所・短所、得意・不得意なこと、興味のあること、やりたいことなどあげる)」「進路先を知る(インターンシップ・オープンキャンパスに参加す

る)」「言語化する(今考えている進路について他人に話してみる。あるいは文章にしてみる)」ということをしようとして指導しております。ご家庭でも進路や将来のことについて話す機会を増やしていただければと思います。

社会情勢の変化が激しい中、県内の大学・短大も変化を余儀なくされています。昨年の飯田短期大学に続き、今年4月から長野女子短期大学が長野短期大学に校名変更し、男女共学になりました。清泉女学院大学・清泉女学院短期大学が来年4月に清泉大学に校名変更するとともに、学部の変更等が予定されています。県内の大学・短期大学の環境が大きく変わってきています。進路指導係としても細やかな情報発信をしていきたいと思っています。大学進学から就職まで進路希望は多様化していますが、生徒一人ひとりの進路が実現できるよう、進路指導係はじめ職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



部活動 活動実績

陸上競技

<北信総体>

小林 鈴音	○円盤投	32m92	2位
高橋 恵太	○1500m	4:20.67	7位
	○800m	2:14.72	
	○円盤投	18m67	
大堀 七紫	○ハンマー投	出場	
	○円盤投	17m48"	

<県総体>

小林 鈴音	○円盤投	34m38	3位 (北信越大会へ)
高橋 恵太	○1500m	4:29.51	

<北信越総体>

小林 鈴音	○円盤投	24m10	
-------	------	-------	--



バスト 16

飯森 慎 星澤 拓歩

出場 椎名 渉 塚田 鈴太 瀧澤 奏芽
瀬在 爽人 池田 大慈郎

<県総体>

(予選リーグ)

1試合目	松本 蟻ヶ崎	2-0	負け
2試合目	蓼科	0-5	勝ち
3試合目	佐久 長聖	1-1	引き分け

(男子個人戦)

ベスト 8 米澤 登伊

<北信越総体>

(男子個人戦)

米澤 登伊 1回戦敗退



野球

春季高校野球北信大会 松代 2-22 長野俊英
選手権長野県大会 松代 9-0 松本深志

バスケットボール

<北信総体>

男子	松代 73-100	長野日大
女子	松代・屋代南 37-117	長野日大



バレーボール

<北信総体>

男子	松代 0-2	須坂創成
女子	松代 0-2	中野立志館

柔道

<北信総体>

男子個人	60kg 級	市川 智也	ベスト 8
		米澤 慎治	初戦敗退
	73kg 級	羽生 田瑛斗	ベスト 8

<県総体>

男子個人	60kg 級	米澤 慎治	市川 智也	初戦敗退
	73kg 級	羽生 田瑛斗		初戦敗退



剣道

<北信総体>

(予選リーグ)

1試合目	長野高専	2-3	勝ち
2試合目	飯山	2-2	本数勝ち
3試合目	長野	2-2	引き分け

(決勝トーナメント)

1回戦	長野西	2-2	本数勝ち
準決勝	長野日大	3-0	負け
3位決定戦	長野	2-1	負け

(男子個人戦)

6位	米澤 登伊	県大会出場
----	-------	-------

サッカー

<北信総体>

1回戦 松代 0-9 長野俊英

弓道

<北信総体>

(女子団体)

Aチーム	1回戦	20射 1中	2回戦	進出ならず
Bチーム	1回戦	20射 7中	2回戦	20射 6中

県総体出場ならず

(男子個人) いずれも県総体出場ならず

(女子個人) いずれも県総体出場ならず

卓球

<北信総体>

(個人 シングルス)

北島 凱斗 1回戦敗退



美術

更埴地区高等学校美術展出品

松壽祭 作品展示

ミュージック

Power Live 2024 TH

海月男爵 Side1 松高センチピード 計3バンド出場

松高センチピードベスト4入賞、県大会進出

茶道

第1回 PTA 理事会

PTA 理事の方々にお点前披露 4月23日

第2回 PTA 理事会

PTA 理事の方々にお点前披露 5月31日



商業・マーケティング班

松壽祭 開発商品販売



歌の練習



壮行会



生徒総会



新任の先生



教科等	職名等	氏 名	前任校等
	校長	向井健太郎	長野県教育委員会
	教頭	阿部 栄智	小諸商業（定）
国語科	講師	武士 寧々	新規採用
地歴公民科	教諭	油井 翔	新規採用（松本国際）
数学科	非常勤講師	牧野内 昇	長野吉田・長野南・篠ノ井（兼務）
理科	教諭	三村 海斗	新規採用（市立長野）
英語科	講師	坂口 教道	（長野西中条）
英語科	非常勤講師	田中 悦治	（長野工業）
商業科	教諭	秋山 幸久	長野商業
行政	主査	小川 伸一	屋代
行政	主任	土屋 克文	更級農業



卒業式



学校説明会



税作文表彰



壮行会記念撮影



餅つき実習



松代ぶら散歩



デパートゆにっと（井上）



松代大本営見学



松濤祭